



富士急行株式会社



B U S I N E S S R E P O R T



第110期 近況報告

2010.4.1 ▶ 2010.9.30

富士急グループ

経営理念

いつも「喜び・感動」

富士急グループは、「富士を世界に拓く」という創業精神のもと、オリジナリティの高い「喜び・感動」を創造することにより、世界の人々の心の豊かさに貢献します。

経営ビジョン

世界中のお客様の立場に立って、120%の安全と最高のホスピタリティの提供を目指します

株主重視の経営

自然環境・地域社会を大切にし、皆様から信頼される会社になります

社員が夢と誇りを持てる会社となります

富士急グループは十二分に安全を心がけ、ステークホルダー重視の経営をすることにより、アメニティ（夢・喜び・快適・やすらぎ・感動）ビジネスのリーディングカンパニーを目指します。

C O N T E N T S

ごあいさつ	1	ニュース & トピックス	7
事業別概況	2	会社概況・株式情報	10
連結財務諸表	4	株主優待のご案内	12
単独財務諸表	6		



代表取締役社長

堀内 光一郎

株主のみなさまには、まずまずご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、当社事業に対し、格別のご支援を賜り誠にありがとうございます。

心から御礼申し上げます。

上半期におけるわが国経済は、企業業績は回復傾向にあるものの自律性は弱く、急激な円高や株式市場の低迷、また、雇用情勢の悪化やデフレの影響など、依然として厳しい状況下に推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、レジャー・サービス事業で今夏、「富士急ハイランド」に人気アニメ映画「エヴァンゲリオン新劇場版」の世界観が楽しめるパピリオンを、また、「トーマスランド」に世界初のトーマス専用3Dシアター「トーマスランド3Dシアター」を導入し、需要の創出に努めました。さらに富士南麓の遊園地「Grinpa」では考えるアスレチック「ピカソのタマゴ」を導入し、前年同施設を導入した「さがみ湖リゾートプレミアムフォレスト」と同様、多くのお客様に好評を博し、集客に貢献しました。

富士本栖湖リゾートで開催3年目を迎えた「富士芝桜まつり」は、早朝営業の実施、物販・飲食部門の強化により、前年を上回る43万人のお客様にご来場いただきました。

運輸事業では、富士急行線の観光列車「富士登山電車」を全車定員制の快速列車として運行を開始し、観光鉄道としての魅力向上を図りました。バス事業の高速バスでは、7月に「みしまコロッケ号（三島～渋谷・新宿線）」の運行を開

始し、首都圏エリアとのアクセス充実を図りました。貸切バスでは8月から河口湖において屋根のないオープンバス「KABA BUS」の運行を開始し、増収に努めました。

以上の結果、四半期（中間）の連結売上高は246億67百万円（前年同期比2.7%増）、経常利益は25億6百万円（同19.6%増）となりましたが、純利益は投資有価証券評価損の計上等があり9億74百万円（同17.1%減）となりました。

下半期におきましても、当社グループを取り巻く事業環境は、引き続き厳しい状況が続くものと考えられます。

このような状況の中、当社グループは引き続き中期経営戦略を推進し、各事業でオリジナリティの高い商品・サービスの提供に努めてまいります。また、平成23年7月1日には富士吉田駅を富士山駅に名称変更し、河口湖駅と並ぶ富士山・富士五湖地域の交流拠点に再構築することで地域全体の活性化を図り、「富士を世界に拓く」という創業精神のもと、富士山と共に生まれ育った企業としての社会的使命、責任を引き続き果たしてまいれる所存でございます。

株主のみなさまには、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

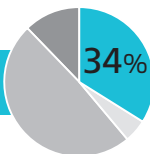
平成22年11月

代表取締役社長 堀内 光一郎

事業別概況



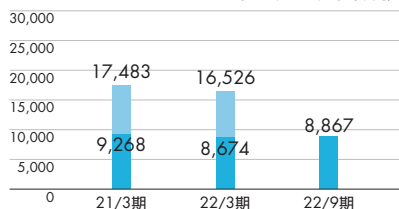
運輸事業



売上高の推移

(百万円)

■ 通期 ■ 第2四半期 (中間)



鉄道事業では、3月から観光列車「富士登山電車」を全車定員制の快速列車として運行開始し、観光鉄道へ魅力アップを図りました。また、JR東日本と連携を強化し、新企画乗車券「河口湖・山中湖セレクトフリーきっぷ」の設定、「富士芝桜まつり」や音楽イベント「サウンドコニファー229」への中央線直通列車の増発などを進め、さらには各イベントに連携した記念入場券等の販売を実施し、増収に努めました。

乗合バス事業では、引き続き不採算路線の改善や運行ルートの見直しを行い、収支改善に努めました。また、港区のコミュニティバス「ちいばす」は3月から新規に5ルートを追加し合計7ルートの運行となり、利用客の利便性の向上を図りました。

高速バス事業では、利用客の需要に応じて既存路線の運行期間の延長等を行うとともに、5月から「横浜駅～御殿場プレミアムアウトレット線」、7月には「みしまコロッケ号(三島～渋谷・新宿線)」の運行を開始し、新たな需要喚起に努めました。

貸切バス事業では、1月に開設した富士急平和観光株式会社八王子営業所において東京都西部地区での営業を強化し、新たな顧客の掘り起こしを行いました。また、大型イベント輸送の受注を積極的に行うとともに、8月1日から河口湖において屋根のないオープンバス「KABA BUS」の運行を開始し、増収に努めました。

以上の結果、ハイヤー・タクシーなどの各事業を含めた運輸事業全体の営業収益は88億67百万円(前年同期比2.2%増)となりましたが、営業利益は7億85百万円(同7.6%減)となりました。

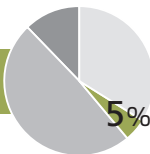


富士登山電車



KABA BUS

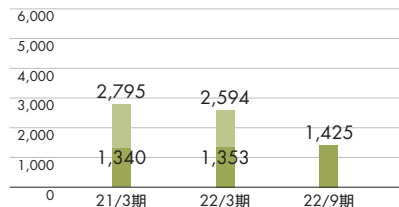
不動産事業



売上高の推移

(百万円)

■ 通期 ■ 第2四半期 (中間)



不動産販売事業では、山中湖畔別荘地で大人の趣味・嗜好を追求できる別荘「コンセプト・ヴィラ」シリーズや多様なニーズに応える「コンセプト・コテージ」シリーズ、また、別荘地の更地販売を積極的に展開しました。

なお、「コンセプト・ヴィラ」シリーズには、新商品「ガーデニングハウス山中湖」を加えるなど需要喚起に努めました。

別荘オーナーに対しては、春は「芝桜鑑賞と本栖湖畔「コンセプト・ヴィラ」シリーズのハイキング」、夏は「山中湖サンセットクルージング」等のイベントを開催するとともに、新たに「オーナーズバス」の運行、「オーナーズルーム」の新設を行い、CSの向上に努めました。

不動産賃貸事業では、計画的な施設の改修などを行い安定的な収入の確保に努めました。

以上の結果、不動産事業全体の営業収益は14億25百万円(前年同期比5.3%増)、営業利益は4億6百万円(同23.8%増)となりました。





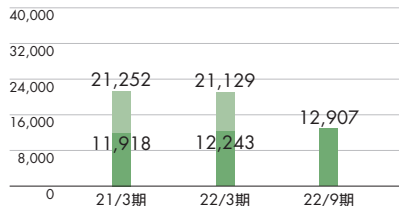
レジャー・サービス事業

49%

売上高の推移

(百万円)

■ 通期 ■ 第2四半期 (中間)



遊園地事業では、4月に「富士急ハイランド」で、テレビ東京の人気子ども番組「ピラメキーン」とコラボレーションとなるイベントを開催し、ファミリー客を中心に好評を博しました。7月には人気の高いアニメ映画「エヴァンゲリオン新劇場版」の世界観が楽しめるパビリオンをオープンし、多くのアニメファンの支持を集め集客に貢献しました。また、「きかんしゃトーマス」の原作誕生65周年を記念し、新たなアトラクション「トーマスランド3Dシアター」と「GO!GO!バルストロード」を開業するとともに、人気ゲームソフト「戦国BASARA」とコラボレートしたウォークスルー型アトラクションをオープンし、施設の魅力向上を図りました。さらに、夏でも雪遊びが楽しめる「夏の雪遊び広場」を初めて導入し、夏期営業の話題となり好評を博しました。

富士南麓の高原リゾート「ぐりんぱ」では、7月に考えるアスレチック「ピカソのタマゴ」を導入し、同施設を前年オープンしたさがみ湖リゾートプレジャーフォレストと同様、多くのお客様の好評を博し、集客に貢献しました。

「さがみ湖リゾートプレジャーフォレスト」では、新たに「ピカソのタマゴ」に“水”のアスレチックを夏期限定でオープンし、「夏の雪遊び広場」とともに、猛暑の中、涼を求める多くのお客様に楽しんでいただきました。また、園内の宿泊エリアに、新トレーラーハウスエリア「マウントビュー・キャラバンズ」をオープンし、多くのお客様にご利用いただきました。

富士本栖湖リゾートでは3年目となる「富士桜まつり」を4月中旬～5月末まで開催し、営業日数の拡大や早朝営業の実施、物販・飲食部門の強化により、前年(36万人)を上回る43万人のお客様にご来店いただきました。

以上の結果、ホテル旅館業等を含めたレジャー・サービス事業全体の営業収益は、ゴールデンウィークや夏休み期間における前年を上回る集客増もあり129億7百万円(前年同期比5.4%増)となり、営業利益は19億43百万円(同22.8%増)となりました。



©2010 Gullane (Thomas) Limited
トーマスランド3Dシアター



富士桜まつり

その他事業

12%

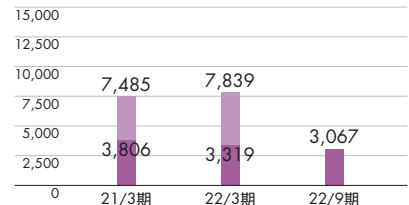
建設業は、公共工事、民間工事ともに前年を下回り、また製造販売業では、株式会社レゾナント・システムズにおいてドライブレコーダー等交通機器の納期が下期に変更となり前年を下回りました。

以上の結果、その他事業全体では、営業収益は30億67百万円(前年同期比7.6%減)となり、25百万円の営業損失となりました。

売上高の推移

(百万円)

■ 通期 ■ 第2四半期 (中間)



連結財務諸表



連結貸借対照表 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産		23,544	20,989
現金及び預金		9,828	7,614
受取手形及び売掛金		1,975	2,231
たな卸資産		10,278	9,890
その他		1,462	1,252
固定資産		63,840	63,953
有形固定資産		54,984	54,984
建物及び構築物		27,045	27,382
機械装置及び運搬具		7,029	7,562
土地		16,593	16,593
建設仮勘定		1,314	682
その他		3,001	2,764
無形固定資産		3,101	3,062
投資その他の資産		5,754	5,906
投資有価証券		3,833	4,111
その他		1,920	1,795
資産合計		87,384	84,942

科 目	期 別	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日現在)
(負債の部)			
流動負債		24,670	23,366
支払手形及び買掛金		2,209	2,403
短期借入金		16,827	16,588
賞与引当金		436	431
その他		5,197	3,943
固定負債		46,254	46,001
長期借入金		38,949	38,990
退職給付引当金		1,238	1,320
その他		6,067	5,690
負債合計		70,925	69,367
(純資産の部)			
株主資本		16,026	15,551
資本金		9,126	9,126
資本剰余金		3,418	3,407
利益剰余金		4,956	4,511
自己株式		△1,475	△1,494
評価・換算差額等		△80	△457
その他有価証券評価差額金		△80	△457
少数株主持分		513	481
純資産合計		16,459	15,574
負債・純資産合計		87,384	84,942

連結損益計算書（要旨）

単位：百万円

科 目	期 別	当第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)
	営業収益		24,667
営業費		21,586	21,303
営業利益		3,081	2,718
営業外収益		111	101
営業外費用		686	724
経常利益		2,506	2,095
特別利益		131	6
特別損失		1,277	57
税金等調整前四半期（中間）純利益		1,360	2,045
法人税、住民税及び事業税		1,042	914
法人税等調整額		△676	△55
少数株主利益		20	11
四半期（中間）純利益		974	1,175

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

単位：百万円

科 目	期 別	当第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)
	営業活動によるキャッシュ・フロー		4,870
税金等調整前四半期（中間）純利益		1,360	2,045
減価償却費		2,305	2,228
その他損益等調整額		1,635	613
資産・負債の増減額		533	121
小計		5,834	5,008
利息の支払額等		△964	△689
投資活動によるキャッシュ・フロー		△2,320	△1,466
有形固定資産の取得による支出		△2,518	△1,813
その他		197	346
財務活動によるキャッシュ・フロー		△333	△1,236
借入金の増減額		214	△610
その他		△548	△625
現金及び現金同等物の増減額		2,215	1,616
現金及び現金同等物の期首残高		7,533	6,844
現金及び現金同等物の四半期（中間期）末残高		9,749	8,460

単独財務諸表



単独貸借対照表 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別	第110期第2四半期	第109期前事業年度
		(平成22年9月30日現在)	(平成22年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産		21,177	18,487
固定資産		56,485	56,559
資産合計		77,662	75,046
(負債の部)			
流動負債		20,221	18,463
固定負債		41,924	41,658
負債合計		62,146	60,121
(純資産の部)			
株主資本		15,599	15,370
資本金		9,126	9,126
資本剰余金		3,399	3,399
利益剰余金		4,140	3,910
自己株式		△1,067	△1,066
評価・換算差額等		△82	△445
その他有価証券評価差額金		△82	△445
純資産合計		15,516	14,925
負債・純資産合計		77,662	75,046

単独損益計算書 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別	第110期	第109期
		第2四半期 (累計)	第2四半期 (累計)
		(平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	(平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)
営業収益		13,790	13,261
営業費		11,346	11,161
営業利益		2,444	2,099
営業外収益		213	235
営業外費用		590	606
経常利益		2,066	1,728
特別利益		9	6
特別損失		1,150	57
税引前四半期 (中間) 純利益		925	1,678
法人税、住民税及び事業税		741	687
法人税等調整額		△581	△60
四半期 (中間) 純利益		764	1,050

富士急行カーリング部「チームフジヤマ」創設

8月9日、富士急行カーリング部「チームフジヤマ」を創設しました。

「チームフジヤマ」のゼネラルマネージャー兼ヘッドコーチには、アルペールビルオリンピック全日本代表チーム監督を務めた小林宏氏が就任しました。

選手は、チーム長野で活躍した園部淳子選手をチームリーダーに、松田敦子選手、山下知恵理選手、小穴桃里選手の4名です。

富士急グループは、1961年の富士五湖国際スケートセンター（現：富士急ハイランド）オープンを皮切りに、1968年にはスケート部を発足し、オリンピック選手を多数輩出するなど、永年に亘り氷上スポーツの普及に取り組んでまいりました。

ウインタースポーツをより幅広く、多くの方々に楽しんでいただくことが当社の社会的責任と位置づけ、氷上スポーツの更なる普及、振興活動を継続してまいります。



（左から）堀内社長、山下選手、園部選手、松田選手、小穴選手、小林ゼネラルマネージャー



新アトラクション続々オープン！

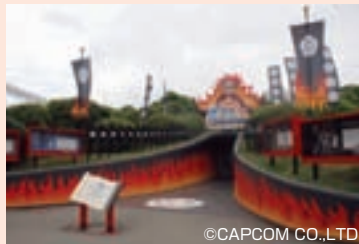
「EVANGELION: WORLD-実物大初号機建造計画-」



人気アニメ映画「エヴァンゲリオン新劇場版」の世界観が楽しめるパビリオン「EVANGELION: WORLD-実物大初号機建造計画-」がオープンしました。世界初登場と

なる「汎用ヒト型決戦兵器 人造人間エヴァンゲリオン初号機」の実物大立体胸像をはじめ、エヴァンゲリオンの実物大コクピットや「渚カヲル」の等身大立像など、エヴァンゲリオンの世界をリアルにお楽しみいただけます。

「合戦 戦国BASARA」



人気ゲームソフト「戦国BASARA」とコラボレーションしたウォークスルー型アトラクション「合戦 戦国BASARA」がオープンしました。

人気の6武将（伊達政宗、真田幸村、

長曾我部元親、毛利元就、武田信玄、お市）の一人となり、渡されたカードで制限時間内に隠された武具（ポイント）を集め、織田信長との最終対決に進みます。「武具収集」や「百人斬り」などのアクションや、台詞や音楽などの演出も楽しめるため、まるで「戦国BASARA」の世界に入り込んだような感覚をお楽しみいただけます。

「トーマスランド3Dシアター」



「きかんしゃトーマス」原作誕生65周年を記念して、「トーマスランド」に日本未公開のストーリーを含めたオリジナル映像をご覧いただける世界初の「トーマス」専用3Dシアター「トーマスランド3Dシアター」がオープンしました。

シアターの中には、機関車たちがメンテナンスのために集まる「ソドー・スチーム・ワークス(ソドー整備工場)」が再現されており、メンテナンスを訪れた「トーマス」と、新米作業員に扮するスタッフの掛け合いの中、3D映像がお楽しみいただけます。また、港で働く仲間「バルストロード」が、回転しながらレール上を振り子のように運動するアトラクション「GO! GO! バルストロード」も同時にオープンしました。

「夏の雪遊び広場」



夏でも雪遊びが楽しめる「夏の雪遊び広場」が初登場しました。

富士急ハイランドでは毎年冬から春にかけて「雪遊び広場」を営業し、冬の風物詩でもあ

る「スケートリンク」とともに好評をいただいておりますが、お客様のご要望にお応えし、冬以外のシーズンで営業を開始しました。

猛暑となったこの夏、多くのお客様に異色の“涼”を体験いただきました。



考えるアスレチック 「ピカソのタマゴ」誕生！

“自分で考えて進むこと”をコンセプトにした、カラフルな色づかいと不思議な形状を持った新しいタイプの「ピカソのタマゴ」が、さがみ湖リゾートプレジャーフォレストに続きオープンしました。導入したアスレチックは、ぐりんぱオリジナルのアスレチックコースを含め全部で16種類のアイテムで構成され、富士山が間近で見られる大自然の中、頭と体を使って親子一緒でお楽しみいただけます。



さがみ湖リゾート
プレジャーフォレスト

©Paddington and Company Ltd 2010

“水”のアスレチック 「アクアリズム」誕生！

考えるアスレチック「ピカソのタマゴ」に、新たに25番目のアスレチックとして「アクアリズム」が夏期限定で登場しました。この「アクアリズム」は、リズムに合わせて飛び出す噴水をよけながらゴールまで進むアスレチックで、同時にオープンした「夏の雪遊び広場」とともに、多くのお客様にお楽しみいただきました。



富士急行線「富士吉田駅」を 「富士山駅」に名称変更

平成23年7月1日、富士急行線の「富士吉田駅」を「富士山駅」へ名称変更いたします。富士吉田駅周辺は、富士山信仰の面影が残り、多くの登山者が富士吉田駅から吉田口登山道を目指すなど「富士登山・富士山観光」の出发点です。「富士山駅」へ名称変更することで、富士登山のゲートウェイとして明確に位置づけ、交通アクセスの充実を図るとともに、国内外の観光客への知名度向上と富士北麓エリアへの更なる集客・誘致を図って参ります。



中国上海における 営業拠点の設置について

当社子会社：富士急セールス株式会社（本社：東京都渋谷区）は、訪日観光客の伸長が今後も一層期待できる中国市場で、富士急グループ施設への誘致拡大を図るため、7月1日、上海に営業拠点を設置しました。中国国内では、「富士山」「富士五湖」等富士山周辺の観光地の人気が高く、中国上海に独自の営業拠点を設置することで、富士山周辺で多くの事業を展開する当社グループ施設への更なる利用拡大を目指します。





会社概要 (平成22年9月30日現在)

- 商号 富士急行株式会社
FUJI KYUKO CO.,LTD.
- 所在地 本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号
東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号
- 設立 大正15（1926）年9月18日
- 資本金 91億2,634万円
- 代表者 代表取締役社長 堀内 光一郎
- 主要事業 鉄道事業、自動車運送事業、土地建物の売買・貸借・媒介その他各種不動産事業、旅館業・遊園地その他各種観光事業等

役員 (平成22年9月30日現在)

取締役会長 (代表取締役)	堀内 光雄	取締役	尾崎 護
取締役社長 (代表取締役)	堀内 光一郎	取締役	石川 二比古
専務取締役	帆足 雅晴	取締役	小林 正幸
専務取締役	堀内 哲夫	取締役	井田 正一成
専務取締役	福重 隆一	取締役	勝部 久收
常務取締役	小泉 孝有	常勤監査役	高野 久夫
取締役	林 厚	常勤監査役	矢野 勝守
取締役	宇野 夫史	監査役	清水 堀力
取締役	秋山 智	監査役	吉岡 信和
取締役	藤田 讓	監査役	岡本 一也

連結子会社の状況 (平成22年9月30日現在)

[運輸部門]

- 岳南鉄道(株)
- 富士急行観光(株)
- 富士急平和観光(株)
- 富士急山梨バス(株)
- 富士急シティバス(株)
- 富士急静岡バス(株)
- (株)フジエクスプレス
- 富士急湘南バス(株)

- 富士急オートサービス(株)

- (株)静岡ホールディング
- 富士急伊豆タクシー(株)
- 富士急山梨ハイヤー(株)
- (株)富士急マリンリゾート

[レジャー・サービス部門]

- (株)富士急ハイランド
- (株)フジヤマリゾート

- 相模湖リゾート(株)

- (株)富士宮富士急ホテル
- ハイランドリゾート(株)
- 表富士観光(株)
- 富士急安達太良観光(株)
- 富士観光興業(株)
- 表富士グリーン観光(株)
- 富士急トラベル(株)
- (株)ピカ

[不動産部門]

- (株)富士急リゾートアメニティ

[その他部門]

- (株)富士急百貨店
 - 富士急建設(株)
 - (株)レゾナント・システムズ
 - 富士ミネラルウォーター(株)
- その他9社

株式情報

株式の状況 (平成22年9月30日現在)

■発行可能株式総数	331,695,000 株
■発行済株式の総数	109,769,477 株
■株主数	5,904 名

大株主 (平成22年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
財団法人堀内浩庵会	12,912	11.76
株式会社エフ・ジェイ	12,708	11.58
日本生命保険相互会社	10,661	9.71
富国生命保険相互会社	10,652	9.70
朝日生命保険相互会社	7,650	6.97
株式会社東京ドーム	3,052	2.78
富士急行株式会社	2,680	2.44
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託スルガ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	2,555	2.33
日野自動車株式会社	2,506	2.28
株式会社山梨中央銀行	2,473	2.25



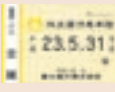












株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel.0120-232-7111 (通話料無料)
同連絡先	
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	東京都において発行する日本経済新聞に掲載

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待のご案内

	電車・バス・観光施設 共通優待券	フリーパス引換券	高速バス乗車券	電車・バス全線 優待パス
35,000株以上	<ul style="list-style-type: none"> ●電車全線乗車 (1枚につき片道1名乗車) ●バス全線乗車 (1枚につき片道1名乗車) ●富士急ハイランド (1枚につき1名入園、5枚につきフリーパス1枚と引換)  <p>× 40 枚</p>	 <p>× 6 枚</p>		 <p>電車・バス全線優待パス (表示された持参人1名)</p> <p>× 1 枚</p>
20,000株以上	<ul style="list-style-type: none"> ●ぐりんぱ (1枚につき1名入園、5枚につきワンデークーポン1枚と引換) ●さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト (1枚につき1名入園、5枚につきフリーパス1枚と引換) ●スノータウンYeti (5枚につき1日入場滑走券1枚と引換)  <p>× 25 枚</p>	 <p>× 5 枚</p>	 <p>× 4 枚</p>	
10,000株以上	<ul style="list-style-type: none"> ●あだたら高原スキー場 (5枚につきリフト1日券またはゴンドラ往復券1枚と引換) ●初島アイランドリゾート (1枚につき1名入園) ●天上山公園カチカチ山ロープウェイ (1枚につき1名乗車 (往復))  <p>× 15 枚</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●遊園地フリーパス (富士急ハイランド・ぐりんぱ・さがみ湖リゾートプレジャーフォレスト) ●スキー場一日券 (スノータウン Yeti・あだたら高原スキー場)  <p>× 4 枚</p>	 <p>× 2 枚</p>	
5,000株以上	<ul style="list-style-type: none"> ●河口湖遊覧船・山中湖遊覧船・本栖湖遊覧船 (1枚につき1名乗船) ●初島航路 (1枚につき1名乗船 (片道)、2枚につき1名乗船 (往復))  <p>× 10 枚</p>	 <p>× 3 枚</p>	 <p>× 1 枚</p>	
3,000株以上	<ul style="list-style-type: none"> ●フジヤマミュージアム (1枚につき1名入館) ●ふじやま温泉 (2枚につき大人1名入館、1枚につき小人1名入館) ●富士芝桜まつり (富士本栖湖リゾート) (1枚につき1名入園) <p>※開催期間をご確認ください。</p>  <p>× 7 枚</p>	 <p>× 2 枚</p>		
1,000株以上		 <p>× 1 枚</p>		

注) 高速バス乗車券は、中央高速バス富士五湖線・富士山五合目線・甲府線及び東名高速バス東京駅～河口湖線の当社便に限りご利用いただけます。

施設割引券

ハイランドリゾート
ホテル&スパ
ホテルマウント富士

1枚につき1室室料
20%または自社企画
宿泊商品10%割引

ホテルマウント富士
プール割引券

20%割引 (1枚に
つき4名まで)

2枚

あだたら高原富士急
ホテル
富士富士急ホテル
甲府イーストサイド
ホテル

3ホテル共通1枚に
つき1室室料20%
または自社企画宿
泊商品10%割引

富士急グループホテ
ル 飲食割引券

レストラン・バー、
食事付入浴10%割
引 (1枚につき4名
まで)

5枚

富士ゴルフコース

所定プレー料金か
ら2,000円割引 (1
枚につき4名まで)

ゴルフパーク
[Bandi]

バック料金から1,000
円割引、土・日・祝日
2,000円割引 (1枚に
つき4名まで)

1枚

大富士ゴルフ場

所定プレー料金か
ら2,000円割引 (1
枚につき4名まで)

ふじやま温泉

入館料 平日大人
750円 小人400円
土日 大人1,000
円 小人500円 (1枚
につき4名まで)

PICAA山仲遊ヴィレッジ

コテージ1棟(素泊
り) 10%割引 レス
トラン「FUJIYAMA
KITCHEN」5%割引

2枚

PICA富士吉田・
PICA富士西湖・キャ
ンピカ富士ぐりんば

1枚につき1泊1室
10%割引

富士ミネラルウォーター

1枚につき20%割
引 (1ケース以上)

1枚

富士急トラベル

パッケージ旅行代
金の5%割引 (1枚
につき4名まで)

2枚

富士急ハイランドホ
ウリング場

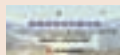
1ゲーム350円 (1
枚につき4名まで)

富士急オートサービス

車検・点検・整
備 工賃10%割引

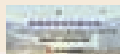
1枚

長期保有特別優待券



× 3枚

「ハイランドリゾート
ホテル&スパ」「ホテ
ルマウント富士」の
指定するツインルー
ム室料100%または
ホテル内レストラン
利用料30%割引券



× 2枚

● 株主優待券の発行時期及び有効期間

当社の株主優待は毎年3月31日及び9月30日現在で1,000株以上ご所有の、株主様のご所有株式数に対してそれぞれ5月下旬、11月下旬に発行いたします。

	発行時期	有効期間
3月31日現在の株主様	5月末	11月30日まで
9月30日現在の株主様	11月末	翌年5月31日まで

注) 長期保有特別優待券の有効期間に限り、「1年間」といたします。

● 長期保有特別優待券について

- ・長期保有特別優待券は過去3年間すべての基準日(3月31日、9月30日)の株主名簿において、対象となる株式数以上を継続して保有し、かつ株主番号または氏名・住所が継続して同一である株主様へ**3年経過ごと**に発行しております。**(3年に1度の発行となります。)**相続による名義人の変更があった場合、また、継続保有されている株主様であっても基準日現在において、何らかの理由で同一の株主名簿上に対象株式数を保有していない場合は対象となりませんのでご注意ください。
- ・長期保有特別優待券は年末年始、ゴールデンウィーク、旧盆(8月)等ホテルが定めた日のご宿泊にはご利用いただけません。またレストラン利用料の割引額の上限は3万円といたします。その他、ご利用方法については優待券の裏面をご覧ください。



富士急行株式会社

本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号
東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号
<http://www.fujikyū.co.jp/>

本誌は再生紙を使用しています。

